

| | | | |
|-----------------------|---|---------|---------------------------------|
| 1. 科目名 (単位数) | 暮らしと経済 (2単位) | 3. 科目番号 | SBMP1118 |
| 2. 授業担当教員 | 郭 紅霞 | | |
| 4. 授業形態 | 講義が中心となるが、講師からの一方通行ではなく、ディスカッション(学生からの講師への質問、学生間のディスカッション等)を伴ったものにする。 | 5. 開講学期 | 春期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 経済学関連科目を履修していることが望ましい。 | | |
| 7. 講義概要 | 日常、テレビや新聞で見聞きする、我々の身近な生活を取り巻く経済問題を、経済学的な観点から考察する。またそれらの経済問題を題材にして、経済学的なものの考え方を身につける。経済問題や経済学という何かとつきにくく、縁遠い感覚を覚えるかもしれないが、実際には、意外とシンプルで、いったん身につけてしまうと、今後の社会生活を営んで行く中でも非常に便利なツールとなることがわかる。この講義を通じて、その生きていく上で有効なツールとしての経済学的な考え方が自然と身につくことを目指す。また、これまでなんとなく気になっていたにも関わらず未理解だった経済問題に整理をつけていくことを目指す。今回は日本経済を中心に学習する。 | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在、日本経済でどのようなことが起こり、問題になっているかを認識する。 2. 現在の日本を取り巻く経済問題を経済学の枠組みでとらえ直す。 3. 経済学(ミクロ経済学、マクロ経済学)の基本的な考え方を身につける。 4. 数式やグラフを通じて物事を整理するという習慣を身につける。 5. 今後、日本や世界で展開する経済問題に関心がもてるようにする。 | | |
| 9. アサイメント(宿題)及びレポート課題 | 授業内容と関連したレポートを課す。 | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 【教科書】 宮川努・細野薫・細谷圭・川上淳之『日本経済論(第2版)』中央経済社、2021年。 【参考書】 小峰隆夫・村田啓子『最新日本経済入門(第6版)』日本評論社、2020年。 | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | ○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学に関する基礎的・基本的事項を理解し説明できる。 2. 身近な暮らしにおいて経済学的な考え方ができる。 ○評定の方法 <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への積極的参加度 50% 2. 課題レポート 30% 3. 小テスト 20% なお、単位認定には学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たすことが必要である。 | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | <ol style="list-style-type: none"> 1. (ZOOM授業の場合) 授業中はビデオおよびカメラをONにすること。 特段の理由なくビデオをONにせず、かつ教員の呼びかけにマイク等で反応しない学生は欠席扱いとする。 (対面授業の場合) 授業中にスマホ操作、私語、居眠りの多い者は教壇最前列に座らせる等、担当教員の厳重な指導下におく。 2. 経済は私たちの生活を知るうえで最も基本的なものであり、大事なことである。日頃から暮らしと経済に関する情報を積極的に取り入れておくこと。特に、関心がある日本経済新聞等の経済記事は、コピー等をしておくこと。 | | |
| 13. オフィスアワー | 授業中に連絡する。 | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第1回 | オリエンテーション/われわれの生活と経済 | 事前学習 | テキスト pp.1~4 を読んでくる。経済について考えてくる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容の確認と自分の考えをまとめる。 |
| 第2回 | 日本経済論への招待 | 事前学習 | テキストの第1章を読んでくる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容の確認と自分の考えをまとめる。 |
| 第3回 | 高度成長はなぜ実現できたのか | 事前学習 | テキストの第2章を読んでくる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容の確認と自分の考えをまとめる。 |
| 第4回 | バブルとその後の長期停滞 | 事前学習 | テキストの第3章を読んでくる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容の確認と自分の考えをまとめる。 |
| 第5回 | 労働市場の構造変化と所得格差 | 事前学習 | テキストの第4章を読んでくる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容の確認と自分の考えをまとめる。 |
| 第6回 | 中小企業・ベンチャー企業の役割 | 事前学習 | テキストの第5章を読んでくる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容の確認と自分の考えをまとめる。 |
| 第7回 | 産業構造の変化と日本経済の盛衰 | 事前学習 | テキストの第6章を読んでくる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容の確認と自分の考えをまとめる。 |
| 第8回 | 環境・エネルギー問題の克服 | 事前学習 | テキストの第7章を読んでくる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容の確認と自分の考えをまとめる。 |
| 第9回 | 日本の金融システム | 事前学習 | テキストの第8章を読んでくる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容の確認と自分の考えをまとめる。 |

| | | | |
|------|-------------------------|------|---------------------|
| 第10回 | デフレと非伝統的金融政策 | 事前学習 | テキストの第9章を読んでくる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容の確認と自分の考えをまとめる。 |
| 第11回 | 財政の維持可能性 | 事前学習 | テキストの第10章を読んでくる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容の確認と自分の考えをまとめる。 |
| 第12回 | 地域経済と政府の役割 | 事前学習 | テキストの第11章を読んでくる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容の確認と自分の考えをまとめる。 |
| 第13回 | 人口減少と社会保障 | 事前学習 | テキストの第12章を読んでくる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容の確認と自分の考えをまとめる。 |
| 第14回 | 国際経済の中の日本経済 | 事前学習 | テキストの第13章を読んでくる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容の確認と自分の考えをまとめる。 |
| 第15回 | 平成経済から令和経済へ 先衰国日本の行方 | 事前学習 | テキストの第14章を読んでくる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容の確認と自分の考えをまとめる。 |
| 期末試験 | | | |